

2008年7月4日 システムの不具合について

改定システムのオペレーションページから最適化演算を行なう際、最適化対象を%単位の性能指標に設定した場合、ボタンを押して演算を実行しようとすると、「日付が適切ではありません。」というメッセージが出て、演算が行なえないという不具合がありました。

システム修正マクロ(V31システム修正020.xls)を作成しましたので、ダウンロードページからダウンロード後、解凍してご利用ください。使用方法は以下の通りです。なお、事前にマクロのセキュリティで、「Visual Basic プロジェクトへのアクセスを信頼する」にチェックを入れておいてください。

最初に、システム修正ページに、修正するシステムのフォルダ名とファイル名を登録します。ファイルピックアップマクロを用い、そこからコピーすると容易です。登録したファイル名に、旧バージョンのものがなくよく確認してください。それらが混じっていると、マクロの実行中にエラーが生じて処理が中断されます。

準備ができましたら、右上にある「システム修正」ボタンを押してください。システム修正マクロが実行されます。なお、システムの修正のためだけに多くのファイルを開閉するのは時間の浪費となりますので、システム修正と同時にシステム更新(データ追加)を行なえるようにいたしました。

「システム修正」ボタンを押すと、「システム修正時にシステム更新も行ないますか?」という確認メッセージが現れますので、更新を行う場合は「はい」、修正だけを行う場合は「いいえ」を選択してください。

ただし、元システム(0001dummy***.xls)の修正の際は、必ず「いいえ」を選択するようにしてください。「はい」を選択すると、元システムに直近日までのデータが追加されてしまい、ファイルサイズが大幅に増加してしまいます。トラブルを避けるため、元システムだけ、別途修正を行なうようにしてください。

システムが修正されると、D列の処理欄に"済"のチェックが入ります。もしも途中で処理を中断したい場合は、システム修正ページが表示されている状態で、"Esc"キーを押してください。そして、実行時エラーの確認メッセージ画面で、「終了」を選択してください。また、中断後は必ず、システム修正マクロを上書き保存してください。

何らかの理由でエラーが発生して処理が中断した場合も、同様の対処を行なってください。そして、中断箇所の登録ファイルを今一度ご確認いただき、問題があれば訂正してください。中断後、再度「システム修正」ボタンを押すと、更新の確認後に未処理箇所("済"のチェックがない箇所)から修正処理を再開します。

なお、処理の進行と共に画面をスクロールするようにいたしました。それにより、どこまで処理が進んだかを一目で確認できますので、登録ファイル数が多い場合、完了時間の目処が立ちやすくなります。処理欄が全て"済"となれば、システム修正は完了です。

度々の不具合により、ご迷惑をお掛けいたしました大変申し訳ありませんでした。万が一、さらなる不具合等が見つかりましたら、当研究所までご連絡いただけますと幸いです。